受診の前に必ずお読みください

人間ドック健康診断をお受けいただく方へ

施設利用について

●JRタワーオフィスプラザの開錠時間はAM8：00です。
開錠時間前には入館できません。ご注意ください。

●日程変更、オプション検査追加等は、お早めにご連絡ください。

●受診日前日及び当日の検査追加・変更はできませんので事前にご受診される項目についてご確認ください。

注　意　事　項

※体の脱水予防のため、お水はAM7：00までにコップ一杯（200mℓ）以内であれば、お飲みいただいて差し支えありません。

2025年1月作成

記載事項につきましては、予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。

目　次

1　健診時にお持ちいただく物 …… 2

2　AM受診の方 …… 3

3　PM受診の方 …… 3

4　健診を受けることができない事項 …… 4

クリニックからのお知らせ …… 4

5　各検査ごとの注意点・ご案内

● 胃部X線検査を受けられる方へ …… 5

● 腹部超音波検査を受けられる方へ …… 8

● 胃部内視鏡検査を受けられる方へ …… 9

● マンモグラフィ検査を受けられる方へ …… 11

● 乳腺超音波検査を受けられる方へ …… 12

マンモグラフィ検査と乳腺超音波検査の違い …… 12

● 子宮がん検査を受けられる方へ …… 13

● MRI検査を受けられる方へ …… 15

● CT検査を受けられる方へ …… 16

MRI検査とCT検査の違い …… 16

● 大腸内視鏡検査を受けられる方へ …… 17

● その他 各検査ごとの注意事項 …… 18
（体脂肪計測・骨密度検査・ABI検査・採血）

クリニックからのお願い

●お身体の状態（症状）によって受けていただく検査項目に制限がある場合がございます。以下に該当する方は、当クリニックまでご連絡ください。

・移動、歩行に介助または何らかの補助用具を使用されている方
・聴力、視力障害のある方
・認知症、知的障害のある方

●待合室からのお呼び出しは医療安全対策の視点よりお名前にてお呼びいたします。また、ご本人様確認は、お名前と受診番号でさせていただいております。当日検査の際に番号カードをお渡しいたしますので、各検査前にご提示をお願い致します。
ご面倒とは存知ますが、受診者様取り違い防止の為ご理解、ご協力をお願い致します。

健診時にお持ちいただく物

◎受診問診票

同封の問診票は事前にご記入ください。ご記入の際は必ずHBの鉛筆を使用してください。誤った場合は消しゴムで消して書き直してください。

◎各種検診問診票

各検査専用の問診票がある場合は、事前にご記入ください。

◎健康保険証利用登録されたマイナンバーカードもしくは健康保険証（資格確認書）

本人確認・所属確認のため、ご提示をお願いしております。また、検査結果により、胃部内視鏡検査において医師が必要と判断した場合、細胞採取検査（組織診：生検）を実施いたします。その際のご費用は実費請求（保険診療）となるためご持参ください。
※自己負担3割の方でおよそ1,500円～9,000円です。

◎各種検体容器（便・尿等）

便検査に関して
- 受診日の１週間前から採取可能です。
- 採取方法は同封の説明書を必ずお読みください。
- 生理中の方は正確な結果が出ない場合があります。

尿検査に関して
- 健診当日の朝に採取した尿を持参してください。

◎健康保険組合・会社発行の書類一式

受診時、当クリニックに提出していただく書類（健診カード・受診票・利用券等）がある場合は、必ずご持参ください。

◎その他

コンタクトレンズ用ケース・保存液等
- 眼底および眼圧検査・MRI検査の際、コンタクトレンズをはずします。
  使い捨てコンタクトレンズの場合は、替えをご用意ください。

現在内服中の薬
- 高血圧の薬は、必ず当日朝6：30までに服用してからお越しください。
  （血圧が高いと当日検査ができなくなる場合があります。）

その他の薬は、当日朝の服薬の有無を必ず主治医に確認し、指示に従ってください。
受診後、服薬される場合はご用意ください。

靴下・カーディガン等
- 検査中ストッキングは着用できません。素足では寒いと感じられる方、検査着だけでは肌寒いと感じられる方は靴下や羽織物をご持参ください。

AM　受診の方

対象《人間ドック･生活習慣病健診》

前　日

●夕食は午後8時までには済ませてください。
●水は就寝前まで飲んでも差し支えありません。
●飲酒はお控えください。

当　日

●朝食は召し上がらないでください。
●水は朝7時までに200mℓ以内なら飲んでも差し支えありません。
●お茶･コーヒー･牛乳･タバコ･飴･ガム等は検査が終わるまで飲んだり食べたりしないでください。

※胃部X線検査･胃部内視鏡検査･腹部超音波検査を受けられる方へ

- 朝食はとらずにお越しください。水は朝7時までに200mℓ以内なら飲んでも差し支えありません。
  胃に食べ物が残っていた場合、検査を中止しますので、あらかじめご了承ください。

※服薬中の方は、当日朝の服薬の有無を必ず主治医に確認し、指示に従ってください。
服薬をされる場合は遅くともAM6:30までに少量の水で服用してください。

PM　受診の方

対象《法定健診･定期健診等》

前　日

●いつもどおりお過ごしください。飲酒はお控えください。

当　日

●朝食は軽めに午前10時までには済ませてください。それ以降のお食事はお控えください。
●糖分が含まれる飲み物･タバコ･飴･ガム等も、午前10時以降、検査終了までお控えください。
●水はお飲み頂いて結構です。

健診を受けることができない事項

◎妊娠中又はその可能性のある方は、必ず事前にお申し出ください。
ご受診できない検査があります。

◎生理中の場合、便検査・子宮がん検査等で正確な診断ができない場合があります。

◎感染症（インフルエンザ、帯状疱疹等）や流行性角結膜炎に罹られている方は、受診をお断りする場合がありますので、事前にお問い合わせください。

◎予約完了後から受診当日までの間に、お勤め先あるいはご加入の健康保険組合に変更があった場合、ご予約のコース内容で受診いただけない場合がございます。
変更があった時点で速やかにご連絡いただけますようお願いいたします。

クリニックからのお知らせ

◎脱水症予防のため、水分摂取基準が変更になりました。

◎健康診断の所要時間は受診項目によって変わります。

◎人間ドックは3時間程度、その他健診は2時間程度です。

◎当クリニック内でのお荷物・貴重品等の紛失、盗難に関しましては、責任を負いかねますので予めご了承ください。

◎携帯電話・スマートフォンの使用可能エリアを設けております。
※通話はどの場所でもできません。
ご使用の際は使用可能エリアをご確認の上、ルールをお守りください。

◎当クリニック内はすべて禁煙とさせて頂いております。
皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

胃部X線検査を受けられる方へ

※脱水症予防のために飲水を可としました。
従来、胃部X線検査においては、飲食禁止で来院していただいておりましたが、少量のお水をお飲みいただいても時間を空けると検査精度に影響を及ぼさないことが判明いたしました。

胃部X線検査とは

バリウム（硫酸バリウムという造影剤）を用いて、食道・胃・十二指腸を撮影する検査です。
癌や潰瘍、炎症、ポリープなどがわかります。
バリウムを飲んだ後、検査台の上で横になったり、うつぶせになったりして、身体の向きや位置を変えて動いていただくことが必要になります。

検　査　の　方　法

●初めに、発泡剤とバリウムを飲みます。検査終了までゲップは我慢してください。
●胃の粘膜にバリウムを付着させるため、撮影台の上で、体を左右に動かしたり回転したり頭を下げるなどの体位があります。
●胃がんの早期発見には良いX線写真を撮ることが必要不可欠です。
ご協力をお願い致します。
●結果については、後日書面にて郵送いたします。

検査の流れ

①発泡剤を飲みます。

小瓶の中の白い粉をすべて少量のバリウムで飲みます。だんだん胃が膨らんでいき、ゲップが出やすくなります。

検査終了までゲップは我慢しましょう。

②バリウムを飲みます。

こぼさないように気をつけて全量をお飲みください。

③撮影台に立ちます。

両側の手すり棒をつかみ、左斜め前を向いて立ってください。台が倒れていきます。

④右回りに3回、回転してください。

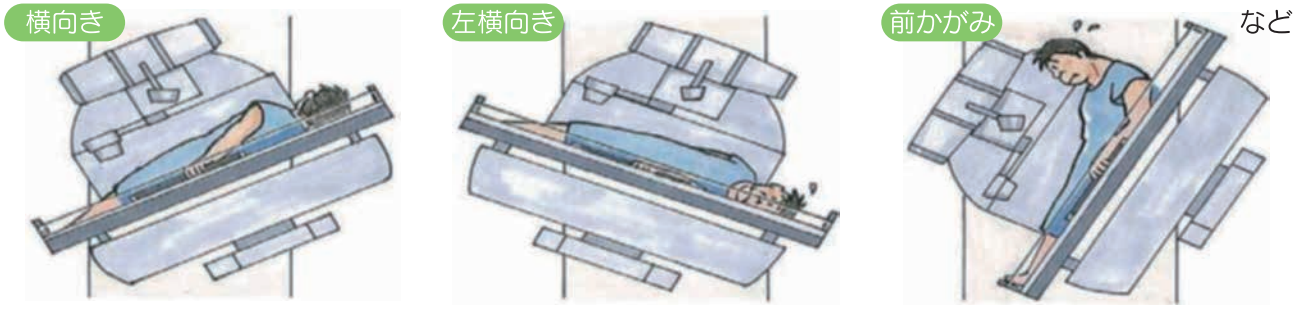
1

2

3

⑤いよいよ撮影開始です。

いろいろな体の向きで撮影します。



※手すりをしっかり握りましょう。

⑥中ほどに、うつ伏せで頭を下げる姿勢があります。

⑦台が立って止まったら検査終了です。

注　意　事　項

安全で精度の高い検査を受けていただくために、下記の方は検査をご遠慮いただいております。

- ●体重が135kg以上の方
- ●妊娠中または妊娠の可能性のある方
- ●年齢が80歳以上の方
- ●おひとりで立てない方や検査台の上で体位を変えることのできない方
- ●下痢や腹痛などの腹部症状のある方

※胃内に食べ物が残っている状態だと、病変と間違われる可能性があります。
　また、病変が隠れてしまい、正確な診断ができない可能性もあります。
　水のみ、当日朝7時までに200mℓ以内であれば飲んでいただいても差し支えありません。
　食事をとって来院された場合は検査を中止させていただきます。

※現在治療中の疾患や手術を受けた既往のある方は、主治医の許可が必要な場合があります。
　また、当日の血圧値異常等、体調に不安のある方は、検査を受けられない場合があります。

検査後の注意事項

検査後、バリウムが排泄されないまま長時間腸内に残っていると、水分が吸収されて固まってしまい、便秘になったり、極めてまれですが、腸に穴が開いたり（消化管穿孔）、便が詰まったり（腸閉塞）することがあると報告されています。
下記の注意事項を必ずお読みになり、早めにバリウムを排泄するようにしましょう。

●バリウムの排泄を促すために、検査後すぐにコップ1～2杯の水を飲んでください。
バリウムは１回で全部排泄されるとは限りません。検査後１～２日はできるだけ多くの水分（1～2ℓ）をとるようにしてください。

●検査後気分不快などが無い場合は、できるだけ早く食事を済ませるようにしてください。
食事をすることで腸が動き、バリウムと便が混ざりあい、排泄されやすくなります。

●下剤はできるだけ早めに多めの水またはぬるま湯（コップ1杯以上）で飲んでください。普段から軟便だったり、下痢をしやすい方、前回下剤が効き過ぎた方は１錠の服用で構いませんが、8時間経過しても排便が無い場合は2錠服用してください。
通常は検査終了後に2錠、8時間を経過しても排便が無い場合は更に2錠服用し、翌朝までに１度も排便が無い場合もう2錠服用していただきます。
（下剤を飲まれてから効果が出るまでにおおよそ8時間かかります。）

●便意を感じなくても定期的にトイレに行くようにしてください。

●普段から便秘気味の方は下剤を追加してお渡ししますので、検査担当者にお伝えください。
健診でお渡しできる下剤は6錠までです。
便秘症で下剤投与をご希望の場合は、医療機関を受診するか市販薬をご利用ください。

●過敏症（アレルギー症状）
検査後に気分が悪い、体調がすぐれないなどの症状が出た方はスタッフにご相談ください。
過敏症として下記のような症状が出る事があります。

じんましん　気分不快　顔面蒼白　手足が冷たくなる
息苦しい　のどが詰まる　等

●下剤を服用しても翌日中に排便が無い場合、腹痛などの症状が無ければ、水分を多めにとって様子をみてもかまいません。
ただし、腹痛、気分不快、吐き気などの症状がある場合は、医療機関を受診してください。

腹部超音波検査を受けられる方へ

腹部超音波検査とは

お腹に超音波を当てて、肝臓・胆嚢・膵臓・腎臓・脾臓などを観察し、病変の有無や形態の異常などを調べます。超音波検査は人体への害はなく安全な検査ですが、脂肪・骨・消化管ガスの影響を受けやすいため、全域を観察できないことがあります。
特に、膵臓は胃や腸の裏側にあるため、見えにくい臓器です。
他にも、皮下や腹腔内に蓄積した脂肪が多い方、極端に痩せている方、お腹にガスがたまっている方、筋肉質の方は観察が困難です。

検　査　の　方　法

●検査着をまくりあげ、ズボンと下着は腰骨まで下げていただき、胸下からお臍の下までを出した状態で、ベッドに仰向けに寝ていただきます。お腹にゼリーを塗り（超音波の通りをよくするため）、探触子（プローブ）をあてて観察します。

●検査中は腹式呼吸の要領で、お腹を膨らませて数秒息を止めてもらうことを繰り返します。また、臓器がよく見えるように、プローブを押し当てたり、横向きや座った状態で検査することもあります。

●検査時間はおよそ10分前後です。消化管ガスなどで見えにくい時や観察状況により検査時間が長くなる場合もあります。

注　意　事　項

食事をとりますと、消化管ガスが増え、胆嚢もしぼみ、臓器がみえにくくなります。
食事をとって来院された場合は検査を中止させていただきます。
水のみ、当日朝7時までに200mℓ以内であれば飲んでいただいても差し支えありません。
また、当クリニックでは、妊娠中の方の腹部超音波検査は腹部を圧迫するためお断りさせていただいております。

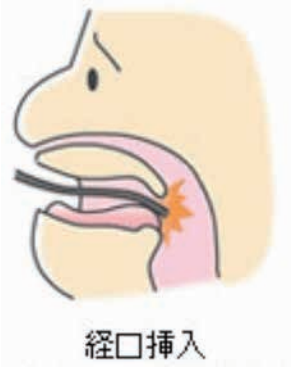
胃部内視鏡検査を受けられる方へ

胃部内視鏡検査とは

細長い管状の機器（スコープ）を口または鼻から入れて、食道、胃、十二指腸を観察する検査です。モニターに映し出された色や形状が鮮明な画像を、直接眼で見ることができるため、病巣を細かく観察することができます。
また、必要時、色素を散布したり、病巣の組織を一部採取（生検）して、病気の診断をすることができます。

検　査　の　方　法

口から内視鏡を挿入する方法（経口）と鼻から内視鏡を挿入する方法（経鼻）を選択できます。検査に使用する内視鏡も、苦痛が少ないよう直径約5mmの『細径内視鏡』を採用しております。内視鏡検査が辛いと思われる一番の原因は、スコープを挿入する際の嘔吐反射といわれていますが、これは、喉の奥にある舌根（舌の付け根）にスコープがあたるために誘発されます。当クリニックの内視鏡は従来の約半分の太さのため、経口でも以前に比べると苦痛が少ないと思われますが、一般的には舌根に内視鏡が触れない経鼻が楽と言われています。ただし経鼻の場合、数％で鼻出血をきたすことや、鼻腔が狭いために内視鏡が通らないことがあります。その場合、経口で検査を致します。
検査の所要時間は、事前の処置と説明に15分程度で検査自体にかかる時間は、おおよそ5～10分程度です。
※鎮静剤を使用した内視鏡検査は実施しておりません。



検査の流れ

①胃粘液除去剤、消泡剤などを内服します。

②経口で検査をする方 ➡ ゼリー状ののどの麻酔を3分間のどにためた後、吐きだします。

経鼻で検査をする方 ➡ 鼻からゼリー状の麻酔を注入し飲みこんでいただき、そのあとに麻酔薬を塗った細いスティックを鼻に入れます。
（内視鏡の通りをスムーズにするため）

③検査台へ移動し、左側を下にした横向きの姿勢で検査を開始します。
経鼻の場合は検査中も会話が可能です。

④検査終了後、担当医が検査結果の説明を行います。
生検の結果判定には、時間を要しますので、後日報告となります。

注　意　事　項

前　日

●夕食は午後8時までにお済ませください。
以後固形物は食べられません。

●水分（お茶、お水）は普段通りとっていただいて構いません。

検　査　当　日

●朝食は食べられません。（水は朝7時までに200mℓまでは飲むことができます。）

●糖尿病の薬、インシュリンは使用しないでください。
そのほかの薬は特に制限はありません。

●化粧は控えめにし、口紅は落としてきてください。

●体調不良時に医療機器を装着する場合がある為、マニキュアやネイルは事前に落としてきてください。

●健康保険証を必ずご持参ください。
※生検などを実施した場合、保険適用になり、自己負担金（自己負担3割の方でおよそ1,500円～9,000円です。）が生じますのでご承知おきください。

※次に該当する方はお申し出ください。

●心疾患、脳血管障害などで治療を受けている方、または既往歴のある方

●血液が固まらないようにする薬（ワーファリン、バイアスピリンなどの抗凝固剤又は抗血小板剤）を服用中の方

検査後の注意事項

●検査後１時間は一切の飲食はできません。喫煙も同様です。
（のどの麻酔が効いた状態での飲食等は大変危険ですので、絶対にしないようにしてください。）

●組織検査を行った場合は、当日のお酒や刺激物の飲食はお控えください。

●経鼻内視鏡検査の場合、鼻出血を起こすことがあります。
ほとんどの場合は圧迫することで止まり、追加の医療処置をすることはごくまれです。

そ　の　他

※現在妊娠中、妊娠の可能性のある方の、胃内視鏡の検査は実施しておりません。

マンモグラフィ検査を受けられる方へ

マンモグラフィとは

マンモグラフィは乳房専用の装置を用いたX線撮影です。
乳房の非常に細かな変化を写し出すことができる為、触知が難しい早期の乳がんの発見に役立ちます。
検査にかかる時間は5～10分程度で、当クリニックではすべて女性技師が行っています。

検　査　の　方　法

マンモグラフィでは専用の装置で乳房を片方ずつ圧迫し、平らに押し広げた状態で撮影します。
圧迫は乳房をできるだけ薄く均一にし、病変を発見しやすくするために行います。
また、圧迫することで放射線による被曝が少なくてすみます。
圧迫の際に多少の痛みを伴うことがありますが、体の力を抜き、リラックスすることで軽減されます。より良い検査のため、乳房の圧迫は必要不可欠です。ご理解とご協力をお願い致します。

注　意　事　項

マンモグラフィ検査は乳房を圧迫し、X線で撮影を行う検査ですので、次に該当する方は検査を受けられません。

●妊娠または妊娠の可能性のある方

●心臓ペースメーカー手術、【埋め込み型除細動器（ICD）挿入】、CVポート挿入、V-Pシャント（脳室-腹腔短絡術）を留置されている方。（乳房付近に異物がある方。）
手術で挿入した機器が破損するおそれがありますので、マンモグラフィ検査を行うことができません。

●豊胸手術（脂肪・ヒアルロン酸注入、生食・シリコンバッグ挿入など）を受けられている方
検査精度に支障をきたす場合がありますので、当クリニックでは原則マンモグラフィ検査を行うことができません。

●授乳中・断乳直後（1年以内）の方
圧迫による痛みが強く、また乳腺が発達しているため診断が困難であるなどの理由から、マンモグラフィ検査に適しておりませんので、ご遠慮いただいております。

放　射　線　被　曝

マンモグラフィはX線を用いる検査ですので、放射線被曝を伴います。
私たちは日常生活の中でもわずかに自然界からの放射線被曝を受けています。
マンモグラフィ1回の撮影で乳房が受ける放射線の量は、1年間に自然に浴びる放射線量の1/10程度であるといわれており、ごく微量です。また、被曝は乳房のみの局所的なものです。
このため、マンモグラフィによる被曝の影響は殆ど心配ありません。

乳腺超音波検査を受けられる方へ

乳腺超音波検査とは

乳房に超音波をあてて、内部の病変の有無を調べます。
手で触れることのできない小さなしこりを見つけ出すことができます。
痛みはほとんどなく、体への悪影響がない安全な検査ですので、妊娠中の方や、乳房の圧迫に耐えられない方も行うことができます。
ただ、欠点として、微細な石灰化が発見しにくいことや、乳房が大きい方の深部の観察が困難な場合があります。

検　査　の　方　法

●検査着をまくりあげ、両乳房がみえるようにして、ベッドに仰向けに寝ていただきます。
　両手は挙上してください。

●乳房にゼリー（超音波の通りをよくするため）を塗り、探触子（プローブ）をあてて観察します。

●検査時間は5～10分です。観察状況により、検査時間が長くなる場合があります。

●結果については、後日書面にて郵送いたします。

注　意　事　項

豊胸手術（脂肪注入、生食バッグ・シリコンバッグ挿入、ヒアルロン酸注入など）をされている方は、観察に影響しますので、お申し出ください。

マンモグラフィ検査と乳腺超音波検査の違い

マンモグラフィ検査	乳腺超音波検査
乳がんの初期症状のひとつであるしこりになる前の微細な石灰化（乳管の中にカルシウムが沈着したもの）を写し出すことに優れている。	微細な石灰化は発見しにくい。
乳腺量が多い人（一般的には若年の方や授乳中の方）はがん（しこりや石灰化）と乳腺の区別がつきにくい。 乳腺が萎縮し、乳腺の多くが脂肪に置き換わっている方には適している。	乳腺量に影響されることがないので、どのような乳腺構造の方でもほとんど問題なく検査することができる。 小さな腫瘤（しこり）を発見でき、その内部性状を観察することができる。
写りにくい部分がある。	まんべんなく観察することができるが、乳房が大きい場合、深部まで超音波が届かず見えにくい場合がある。
被曝の心配がある。 （東京からニューヨークへ飛行機で移動した際にあびる自然放射線量と同じくらい）	安全で妊娠中の方も行える。また、頻繁に検査する必要のある方にも適している。
多少の痛みがある。	痛みはほとんどないので、乳房の圧迫に耐えられない方に適している。
乳腺の全体像を写し出すことができ、左右を比較して見ることができる。 また、以前に撮った画像との比較が容易である。	部分的にしか画像を撮ることができない。

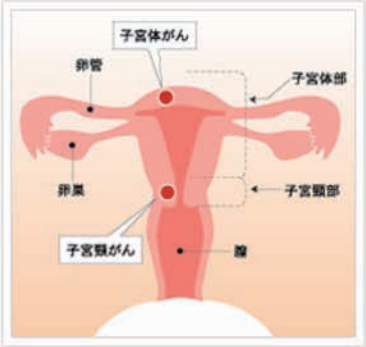
それぞれの検査で、病気を発見する上で得意な点、不得意な点があります。
一般的に40歳以上の方はマンモグラフィ検査、30歳代までの方には超音波検査が適しているといわれていますが、40歳以上の方でも、乳腺量の豊富な方はいらっしゃり、個人差があります。
マンモグラフィ検査や超音波検査でしこりや石灰化がみつかっても、それが必ずしも乳がんであるとは限りません。
乳がんと間違えやすい良性のしこりや石灰化があるからです。
乳がんと確定診断するには、さらに精密な検査（細胞診や組織診、MRI検査など）が必要です。

子宮がん検査を受けられる方へ

子宮がんとは

子宮がんには、がんができる場所によって『子宮頸がん』と『子宮体がん』があります。
両者は原因も発症の仕方も全く異なるがんです。子宮頸がんは、子宮の入口から発生したがんです。主にHPV（ヒトパピローマウイルス）に感染することが原因で引き起こされます。HPVは感染しても多くの場合、免疫力によって体内から排除され自然消失しますが、排除されずに感染が続くと、一部の人に子宮頸がんの前がん病変や子宮頸がんが発生すると考えられています。子宮体がんは、子宮内膜がんとも呼ばれるように、子宮の奥の内側にある、子宮内膜から発生したがんです。
子宮体部細胞診は次の高リスク因子を持つ女性が対象となる検査です。

- ●ホルモン因子を持つ女性：早発月経（10歳未満で月経が発来）、遅発閉経（55歳以降に閉経）、未妊、未産、多のう胞性卵巣症候群、卵胞ホルモン補充療法、乳がん術後のタモキシフェン服用など。
- ●生活習慣病因子を持つ女性：BMI25以上、高血圧、糖尿病など。
- ●遺伝的因子を持つ女性：リンチ症候群など。
- ●症状のある女性：不正出血、過多月経、不規則月経など。



子宮がん検査・HPV検査とは

子宮頸がんは、『異形成』という前がん状態を経てがん化することが知られており、がん細胞に進行する前に正常でない細胞の状態を細胞診検査で見つけることができます。つまり、無症状の時から検診で早期発見することが可能です。体がんも他のがんと同様に、早期発見されるとその後の経過（治療成績）が良いがんであり、早期発見が大切です。ただし子宮体部の細胞診検査は完全ではなく、一般的に陽性の結果が出た場合、本当に子宮体がんがある確率はほぼ90％。陰性の結果が出た場合、本当に子宮体がんがない確率は84～100％といわれています。HPV検査について、当院では、子宮頸がんの発生に関連の深いハイリスク型HPV（16型・18型・その他12種）の感染の有無を判定するスクリーニング検査を実施しております。

検査の方法

子宮頸部細胞診

①まず、膣側とお腹側から子宮、卵巣をおさえ、子宮、卵巣の大きさや形に異常が無いかどうかを大まかに診察します。
②次に膣鏡という器具を膣の中にいれ、子宮口の状態をみます。
③そして、子宮口の細胞をヘラやブラシなどでこすり取り、検査します。

HPV検査

①子宮頸部細胞診と同じ方法で子宮口の細胞をこすり取り、検査します。

子宮体部細胞診

①内診、膣鏡診は、頸部細胞診と同様です。
②子宮体がんは、子宮の内側（内膜）から発生するので、頸がんの細胞診では発見されません。
③子宮の中にカテーテルなどの器具を挿入して細胞をこすり取り、検査します。
④この検査には痛みをともなうことがあります。まれに穿孔、子宮内感染も報告されています。
⑤月経中、不正出血中は正診率が下がる可能性があり、検査を実施しておりません。

注　意　事　項

※精度の高い細胞診断を実施するために、細胞の量が不十分だったり適正な細胞でない場合には、再検査のご案内を致しますのでご了承ください。

※子宮頸部細胞診に関しましては、生理中の受診も可能ですが、適正な細胞の採取ができなかった場合は、再検査のご案内をさせていただきます。

※HPV検査に関しましては、膣内の軟膏や錠剤を2週間以内に使用していた場合、正確な検査結果が出ない可能性がありますので検査前にお申し出ください。

※検査後、数日間出血が続く場合があります。

※子宮体部細胞診を受診された方および頸部細胞診後に出血の多い場合は、当日の入浴は控え、シャワー浴でお済ませください。

※妊娠中、妊娠の可能性のある方は、子宮頸部・体部細胞診を実施しておりません。

※検査後数日間は性交渉をお控えください。

※良性疾患（子宮筋腫など）により、子宮を全摘出された方は、子宮癌検診の対象外となります。ご希望される方は、専門医にてご相談ください。

検査後の時間外及び休日に出血、腹痛等の症状で受診を希望の場合は近医または当番医療機関をご受診ください。

子宮・卵巣超音波（経腟超音波）を受けられる方へ

経腟超音波検査とは

体内の組織に超音波をあてて、はね返ってきた反射波を画像として映し出す検査です。
子宮・卵巣の大きさ、子宮筋腫や子宮内膜の異常、卵巣の腫れなど内診では分かりにくい小さな病変をみつけることができます。

検　査　の　方　法

腟内にカバーを被せた探触子（プローブ）と呼ばれる検査機器を直接入れ、子宮や卵巣の状態を観察します。探触子（プローブ）を子宮や卵巣に近づけるので、鮮明な画像を得ることができます。しかし、超音波をあてられる範囲が限られているので、腟から遠くなると観察しづらくなる欠点があります。

注　意　事　項

子宮・卵巣超音波（経腟超音波）は、子宮がんを特定する検査ではないため、子宮がん検査を希望される方は、子宮頸部細胞診検査をお勧めいたします。

MRI検査を受けられる方へ

ＭＲＩとは

MRI（磁気共鳴画像）とは、強い磁石と微弱な電波を使ってからだの内部の状態を検査する方法です。体の位置を変えずに、あらゆる方向からの断面像として写真をとることが可能な検査です。
MRA（磁気共鳴血管画像）とは、MRIと同じ装置を用いて、血管を描出する検査法です。基本的に造影剤を用いることなく、動脈瘤を発見することができます。
検査時は、工事現場のような大きな音がします。その間に体を動かすと、正しく撮影されませんので、検査が終了するまでは体を動かさないようにお願いいたします。

検査時間は20～30分程度かかります。

注　意　事　項

MRIの検査室は、常に非常に強い磁場（磁石の力）が発生していますので、金属類や磁性体の持ち込みは固く禁じております。

次の①～③に該当する方は検査を受けることができません。
①心臓ペースメーカーを装着されている方
②人工内耳を埋め込まれている方
③妊娠または妊娠の可能性のある方

次の④～⑦に該当する方は検査を受けられないことがあります。
④脳動脈瘤クリップ、心臓血管ステント等の手術を受けられた方
⑤体内に金属を埋め込む手術を受けられた方
⑥閉所恐怖症など、狭いところが苦手な方
⑦入れ墨やアートメイクをしている方
⑧マニキュアやネイルをしている方

※④および⑤については必ず主治医にご相談の上、検査を受けてください。

検査を受ける前の準備

MRIの検査室には、金属類や磁性体の持込みはできません。次のようなものを持込むと、正しく検査がされなかったり、火傷などの事故や機械が壊れることがありますので注意してください。

●時計・めがね・コンタクトレンズ・鍵・ライター・貴金属類（ネックレス・ヘアピン等）
●磁気カード類
●取り外しのできる義歯・補聴器・カイロ・エレキバンなど
●マスカラなどのアイメイク
●マニキュアやネイル
※アイメイク、ネイルには金属類が含まれているものがあり、火傷や変色の恐れがあります。事前に落としてきてください。

CT検査を受けられる方へ

ＣＴとは

X線とコンピュータを使い、人体の輪切り像（横断面）を連続して写す検査で、身体（頭部・躯幹部・四肢）の内部構造を精密に検査する手段です。
当クリニックでは、マルチスライスヘリカルCT装置を用いており、胸部の検査なら1回の息止めで撮影を終了することができます。

検査時間は10～20分程度で終了いたします。

注　意　事　項

CTの検査は、X線で撮影をしております。次に該当する方は検査を受けられません。

●妊娠または妊娠の可能性のある方は、検査ができません。

●胸部CT検査の場合は、心臓ペースメーカー挿入部位は撮影をすることができません。

各検査の説明

●胸部CT

胸部X線検査では心臓や骨の後ろに隠れている病変を発見するのは困難ですが、胸部CT検査では輪切り像を撮影することにより、心臓や血管との重なった部分の病変の発見に有効です。
また、胸部X線検査だけでは良く見えない肺の小病変を早期に発見します。

●腹部CT

肝臓・胆嚢・膵臓・腎臓・脾臓を観察する検査です。
CTはガスや脂肪のために超音波では見えにくい深部臓器の描出が可能で、超音波検査だけでは診断が不十分な臓器（膵臓、副腎、大動脈など）の病変の発見に有用です。

●内臓脂肪CT

内臓脂肪の面積を測る検査です。
お臍の位置で撮影した画像を解析します。算出した内臓脂肪の面積が100cm²以上がメタボリックシンドロームの指標となります。

MRI検査とCT検査の違い

	MRI検査	CT検査
撮影の原理	磁力を使用(被曝はない)。	X線を使用（被曝がある）。
撮影時間	少し長め（20分～30分程度） →動くと画像が乱れてしまう。	比較的早い（10分程度）。
体内金属	一般的に対応できない。	殆ど対応できる。
得意な部位	脳（脳血管も）・骨・骨盤部	胸部・腹部
画像の特徴	骨や腫瘍を濃淡として、はっきり把握できるため、病変の成分や変化を観察できる。	細かく撮影が可能なため、小さい病変が観察できる。
造影剤について	造影剤を使用せずに、血管や管腔が描出できる。	造影剤を使用しなければ、わからない病変もある。

MRIとCTでは、外観が良く似ていると思われますが、全く異なる医療機器で、検査方式も得意な部位も違います。
一般的な比較を上の表に記載しました。
検査の部位・目的によって両者を使い分けて検査は行われます。

大腸内視鏡検査を受けられる方へ

大腸内視鏡検査とは

肛門から内視鏡を挿入し、全大腸の粘膜にできた病変を直接観察する検査です。
大腸がんやポリープ、炎症性の病気などが分かります。他の検査と大きく違うところは、表面の色や模様、出血の様子などを直接観察できるため、より早期の病変を発見できるという点です。検査の時間は、個人差がありますがおおよそ15～30分程度です。

検　査　の　方　法

大腸を観察する際には空気を送気しますが、当クリニックでは空気の代わりに二酸化炭素を使用することにより、腸管から速やかに吸収されるため、検査後の腹部膨満感や腹痛などの不快感が少なくて済みます。

※鎮静剤を使用した検査は実施しておりません。

検査の流れ

大腸の中をよく観察するためには便をきれいに出してしまうことが必要です。
スムーズな検査を受けていただくために、以下の準備をお願いします。

事前準備

- ●検査の7～10日前に、事前説明と下剤引き取りのために来院していただきます。
- ●事前説明は、ご本人様以外への説明は致しかねますので、ご注意ください。

前日

- ●検査前日の食事は、食物繊維の少ない、消化の良い食事をとっていただきます。
- ●夕食は19:00までにお済ませください。
- ●就寝前に下剤を服用していただきます。

検査当日

- ●朝食は召し上がらないでください。
- ●朝8:00頃より腸管洗浄剤（2リットル）を2～3時間かけて服用していただきます。
- ●腸管洗浄剤服用後は頻回に排便に通うため（平均5～15回程度）、お仕事等の予定は入れないようにしてください。
- ●おおよそ3～4時間で落ち着きますので、落ち着いてから検査にお越しください。

注　意　事　項

※健康保険証は、必ず当日お持ちください。

- ●腸管洗浄剤は、早く飲みすぎると、吐き気が出ることがあります。
- ●洗浄剤の味がどうしても嫌だという時は、うがいをしながら飲むと、少し楽に飲むことができます。
- ●コップ1～2杯程度の水は飲まれても差し支えありませんが、洗浄剤の濃度が変わってしまうので、飲みすぎないようにご注意ください。
- ●定期的に服用する薬のある方は、状態が落ち着いてきた11時頃を目安に服用するようにしてください。（洗浄中は薬を飲まれても出てしまうことがあります。）
- ●検査当日は、糖尿病の薬、インシュリン注射などは中止してください。
（低血糖を起こすことがあります。）

※現在妊娠中、妊娠の可能性のある方の大腸内視鏡検査は実施しておりません。

その他　各検査ごとの注意事項

●体脂肪計測

▶ペースメーカーを装着している方は検査を受けることができません。
（体内に微弱な電流を通し計測するため誤作動を起こす可能性があります。）

●骨密度検査

▶妊娠又は妊娠の可能性のある方は検査を受けることができません。
（X線を使い測定しているため）

●ABI検査

▶動脈瘤のある方は検査を受けることができません。
（部位に関わらず、一時的に瘤の部位の血圧が上昇し、破裂の恐れがあるため）

▶深部静脈血栓症の方は検査を受けることができません。
（圧迫により血栓の剥離がおこり、肺塞栓症を起こす可能性があるため）

▶透析用内シャントを造設している方は検査を受けることができません。
（非造設側の上肢や下肢のみでの測定は可能）

●採血を受けられる皆様へのお願い

採血を『安全に』『間違いなく』行うために、以下の事を施行させていただきます。
皆様のご理解とご協力をお願い致します。

▶本人確認

『採血取り間違い防止』のため、氏名を確認させていただきます。

▶下記に該当する方は採血スタッフにお申し出ください。

◆採血時にご気分の悪くなられる方
◆アルコールに過敏症（かぶれなど）をお持ちの方
◆ゴム、ラテックスに過敏症（かぶれなど）をお持ちの方
◆透析中の方
◆乳房切除手術を受けられた方
◆その他、採血に関して不安やご希望をお持ちの方

▶止血に関して

止血が不十分なために採血後に腫れたり跡が青くなったりすることがあります。
採血後に止血ベルトを巻かせていただきます。
ワーファリンなど血液が止まりにくくなる薬を服用されている方はお申し出ください。

▶神経損傷

採血時に針を刺したことにより神経を損傷することがあります。
最大限の注意をはらっておりますが、神経と血管の位置関係は個人差が非常に大きいため、稀に神経に触れてしまう場合があります。
症状としては、針を刺した時の鋭い痛み、手指へ広がる痛みや痺れなどです。
これらの症状の大部分は特別な治療をしなくても、数週間以内になくなりますが、鋭い痛みや痺れを感じたら、我慢せずにお申し出ください。
※これらの症状が起きて、診察に要した治療費は、通常の保険診療扱いとなる事をご了承ください。

●胸部X線撮影

▶スポーツブラ・ブラトップについて

金具・プラスチックがついてないものは基本、着用したまま撮影可能ですが、ごくまれに、ゴム部分が写りこむ場合があります。外していただく場合がございますので、ご了承ください。

健診結果について

●健康診断結果報告書は約3週間後にお送りいたします。
（受診項目により前後いたします）

お支払いについて

①身体的理由やその他の理由で健診項目の一部がお受けになれない場合でも、原則として健診費用の差額調整はございません。

②当クリニック内にはキャッシュコーナーの設置はございません。

③現金でのお支払のほかに、各種クレジットカードも取り扱っております。
JCB ／ VISA ／ マスター ／ UFJカード ／ ダイナースクラブ
アメリカンエキスプレス ／ MUFGCARD ／ DC ／ NICOS
ニッセンレンエスコート

診療受付・休診日

診療受付時間	月	火	水	木	金	土	日
8:30~10:00	○	○	○	○	○	○	―
13:30~15:30	○	○	○	○	○	―	―

休 診 日：土曜日午後・日曜日・祝日・年末年始

お問い合わせ先

医療法人社団 光星

メディカルプラザ札幌 健診クリニック
MPSレディース健診クリニック

札幌市中央区北5条西2丁目 JRタワーオフィスプラザさっぽろ7・8F

平日 8:30～16:00

TEL. 011-209-5450

FAX. 011-209-5451

https://www.medical-plaza.jp

メディカルプラザ札幌 検索